

施設基準

別表第九の二 回復期リハビリテーションを要する状態	2026年度			計
	2月	3月	4月	
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	12	7	11	30
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	10	18	27	55
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	2	2	2	6
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0	0	0	0
股関節又は膝関節の置換術後の状態	1	1	1	3
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0	0	0	0

直近のリハビリテーション実績指数

「実績指数」とは、リハビリテーションの提供により、対象者の状態がどの程度改善したかを示す数値です。

回復期リハビリテーション病棟入院料1の基準は40.0点です。

11月～4月

47.3